

全国大会に出場

ハンドボール中学生県選抜

中学生のハンドボール県選抜チームが、25日から大阪府堺市で開かれる「日本オリンピック委員会(JOC)ジュニアオリンピックカップ2004ハンドボール大会」に、男女ともに東北代表として出場する。強力な攻撃力を武器に予選を勝ち抜いた男子チームは、「今年は優勝を狙える」と意気込んでいる。

大会は、体力や技術の高い選手を見つけ、将来の日本代表選手として育てていくのが狙い。全国9ブロックの大会を勝ち抜いた男女各16の都道府県中学生選抜チームが集まって、熱戦を繰り広げる。

県選抜チームは、9月に



大会出場を前に練習に熱が入る選手たち。盛岡市の岩手大体育館で

男女とも東北代表

あった東北ブロック大会の決勝で、男子が宮城県代表を29-22、女子は福島県代表を20-14でそれぞれ下して優勝。ともに東北代表として男子は2年ぶり6回目、女子は3年連続7回目の出場を決めた。

注目は、2年前の大会でベスト4になった男子チームが、どれだけ勝ち進むことができるかだ。

チームの主力は、8月にあった東北中学校ハンドボール大会で、優勝、準優勝になった城西中、矢巾中の選手たち。キャプテンで身長181センチの佐々木喬也君(城西中)は、高い跳躍力と判断力の優れたポストプレーが持ち味。佐々木君を中心に、藤原崇行君(矢巾中)、安倍健太郎君(松園中)など、高さとしゅート力のある選手がそろった。秋以降から週4回の練習を重ね、高校生の県ベスト4クラスのチームとも、互角に渡り合えるほどの実力があるという。

「V狙える水準」

25日に盛岡を出発し、26日からのリーグ戦で富山、岐阜、熊本の各チームと戦う。菊地正道監督は「今年の実力は2年前より上。リーグ戦を突破して優勝を狙えるレベルなので楽しみに」と期待している。